

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 ピー・シー・エー株式会社
 コード番号 9629 URL <http://www.pca.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 学
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼総務部長 (氏名) 佐藤 文昭
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 03-5211-2711

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	4,373	—	625	—	674	—	408	—
20年3月期第3四半期	4,437	△4.3	830	△22.8	881	20.6	517	△19.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	57.74	—
20年3月期第3四半期	69.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	12,558	10,455	83.3	1,525.23
20年3月期	13,268	10,730	80.9	1,460.20

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 10,455百万円 20年3月期 10,730百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	29.00	29.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	29.00	29.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	8.4	1,294	△2.4	1,360	△2.3	809	25.5	110.11

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 株式会社マックスシステム) 除外 1社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 7,700,000株 20年3月期 7,700,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 844,647株 20年3月期 351,047株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 7,074,155株 20年3月期第3四半期 7,413,716株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月12日発表の通期連結業績予想を修正していません。上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界規模の景気悪化の影響を受け、急激な円高が輸出企業の業績を圧迫し、特に自動車や家電などは為替と景気後退の影響により企業業績を大きく悪化させました。

製造業を中心とした生産調整、雇用削減の流れは止まらず景気は急速に悪化しました。

情報サービス産業におきましても、景気悪化の影響を受け、金融業、製造業などにおける設備投資抑制の影響を受けて、厳しい環境となりました。

当社は、このような厳しい経済環境のもと「ソリューションフェア」を全国的に開催し、顧客のキャッチアップを迅速かつ正確に行い、顧客ニーズに的確に応えるよう努めてまいりました。

当該期間における当社のトピックスとしては、平成20年10月に株式会社マックスシステムの発行済み株式の80%を取得し、同社を子会社としました。当該取得は当社グループの製品拡充を図るとともに、医療事務ソフト分野への進出を果たし、両社のシナジーを最大限に発揮することができるものであります。

戦略製品であるERP（統合型基幹業務システム）ソフト「PCA Dream21」の売上は、競合他社がひしめく厳しい市場のもとながら前年実績を上回るペースで推移しております。

今後は「PCA 9V2」シリーズの投入を予定しており、さらに「PCA戦略フォーラム」を全国的に開催し、顧客ニーズを的確に応え、経営環境にあわせた製品の開発・販売などを行えるようビジネス展開に注力してまいります。

連結対象会社である株式会社ケーイーシーは、当社製品の導入指導、運用保守、ネットワーク環境構築等の事業を主体としており、特に公益法人会計基準の改正に伴う、バージョンアップ支援が好調であり当社の連結業績に寄与しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,373百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益625百万円（前年同期比24.7%減）、経常利益674百万円（前年同期比23.5%減）、四半期純利益408百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における財政状態（連結）の変動状況におきましては、当社グループの財政状態に重要な影響を及ぼすような事象等の特段の記載を要するものはございません。

総資産は、法人税等の支払などにより、前連結会計年度末に比べ709百万円の減少となりました。

株主資本は、自己株式の取得等により、（同）303百万円の減少となりました。

（連結キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,285百万円減少し、1,274百万円となりました。

なお、当第2四半期における各活動によるキャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、261百万円となりました。

これは主に、税金等調整前中間純利益が692百万円と、売上債権の減少額251百万円計上された一方、法人税等の支払額が452百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、2,836百万円となりました。

これは主に、定期預金の預入による支出が5,002百万円に加え、有形固定資産の取得による支出額が128百万円、市場販売目的ソフトウェアに係わる無形固定資産の取得による支出額が101百万円、子会社株式の取得による支出額が194百万円のうち、定期預金の払戻による収入額2,500百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、711百万円となりました。

これは主に、自己株式の取得による支出498百万円と、株主に対する配当金の支払額212百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
関係会社の状況

当第3四半期連結会計期間において、以下の会社が新たに提出会社の関係会社となりました。

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業の内容	議決権の所有割合 又は被所有割合 (%)	関係内容
(連結子会社) ㈱マックスシステム	東京都品川区	14	情報処理サービス業	80 (0)	—

(注) 議決権の所有割合の()内は、被所有割合であります。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,988	4,772
受取手形及び売掛金	688	917
たな卸資産	3	1
繰延税金資産	449	541
その他	154	51
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	5,281	6,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,537	1,507
土地	2,794	2,766
その他（純額）	81	100
有形固定資産合計	4,413	4,374
無形固定資産		
のれん	159	—
その他	128	87
無形固定資産合計	288	87
投資その他の資産		
長期預金	2,000	2,000
その他	579	578
貸倒引当金	△3	△54
投資その他の資産合計	2,576	2,524
固定資産合計	7,277	6,986
資産合計	12,558	13,268
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68	76
前受収益	1,079	1,256
未払法人税等	0	186
賞与引当金	39	132
役員賞与引当金	14	18
その他	267	392
流動負債合計	1,469	2,062
固定負債		
長期前受収益	64	70
退職給付引当金	308	274
役員退職慰労引当金	259	130
固定負債合計	633	474
負債合計	2,102	2,537

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	890	890
資本剰余金	1,919	1,919
利益剰余金	8,656	8,461
自己株式	△1,035	△536
株主資本合計	10,430	10,734
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△62	△3
評価・換算差額等合計	△62	△3
少数株主持分	87	—
純資産合計	10,455	10,730
負債純資産合計	12,558	13,268

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	4,373
売上原価	1,344
売上総利益	3,029
販売費及び一般管理費	2,404
営業利益	625
営業外収益	
受取利息及び配当金	32
その他	17
営業外収益合計	50
営業外費用	
その他	1
営業外費用合計	1
経常利益	674
特別利益	
投資有価証券売却益	12
貸倒引当金戻入額	5
特別利益合計	18
税金等調整前四半期純利益	692
法人税、住民税及び事業税	190
法人税等調整額	91
法人税等合計	281
少数株主利益	1
四半期純利益	408

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	692
減価償却費	82
無形固定資産償却費	60
のれん償却額	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△96
売上債権の増減額 (△は増加)	251
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16
前受収益の増減額 (△は減少)	△177
その他	△126
小計	678
利息及び配当金の受取額	36
法人税等の支払額	△452
営業活動によるキャッシュ・フロー	261
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△5,002
定期預金の払戻による収入	2,500
有形固定資産の取得による支出	△128
無形固定資産の取得による支出	△101
子会社株式の取得による支出	△194
その他	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△498
配当金の支払額	△212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,285
現金及び現金同等物の期首残高	4,560
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,274

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当連結グループは、業務用ソフトウェアの製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類が無いため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当連結グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当連結グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年8月26日付で、当社普通株式492,500株の取得を行っており、取得価額は561百万円であります。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	4,437
II 売上原価	1,164
売上総利益	3,273
III 販売費及び一般管理費	2,442
営業利益	830
IV 営業外収益	
受取利息及び配当金	34
その他	17
営業外収益合計	52
V 営業外費用	
その他	1
営業外費用合計	1
経常利益	881
VI 特別利益	
貸倒引当金戻入額	0
特別利益合計	0
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純利益	881
税金費用	363
四半期純利益	517

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益減価償却費	881
減価償却費	54
無形固定資産の償却費	24
売上債権の増減額(増加:△)	285
仕入債務の増減額(減少:△)	△19
前受収益の増減額(減少:△)	△124
賞与引当金の増減額(減少:△)	△95
その他	△59
小計	946
利息及び配当金の受取額	33
法人税等の支払額	△746
営業活動によるキャッシュ・フロー	233
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,701
定期預金の払戻による収入	1,500
有形固定資産の取得による支出	△36
無形固定資産の取得による支出	△58
その他	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,288
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△200
自己株式の取得による支出	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△255
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△1,310
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,813
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,502

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

区分	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
ソフトウェア (千円)	334,139

- (注) 1. 生産金額は、販売価格で表示しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注の状況

当社は受注生産を行っておりません。

(3) 販売実績

区分	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
ソフトウェア (千円)	334,139
商品 (千円)	221,808
保守料 (千円)	675,569
導入指導料他 (千円)	219,622
合計 (千円)	1,451,140

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。